

「都市アイデンティティ」 (千葉市らしさ)

千葉市 総合政策局 総合政策部
都市アイデンティティ推進課
令和6(2024)年3月

～ 目 次 ～

1. 都市アイデンティティ

- ・ 都市アイデンティティとは？
- ・ 都市アイデンティティ推進課の仕事
- ・ 千葉市の今とこれから

3. その他

- ・ 千葉開府900年(2026)年に向けて

2. 4つの地域資源

- ①加曽利貝塚
- ②オオガハス
- ③千葉氏
- ④海辺

1. 都市アイデンティティ

都市アイデンティティとは？

「都市アイデンティティ」とは？

**⇒千葉市固有の歴史やルーツ
に基づく**

「千葉市らしさ」

(1) 仕事の目的

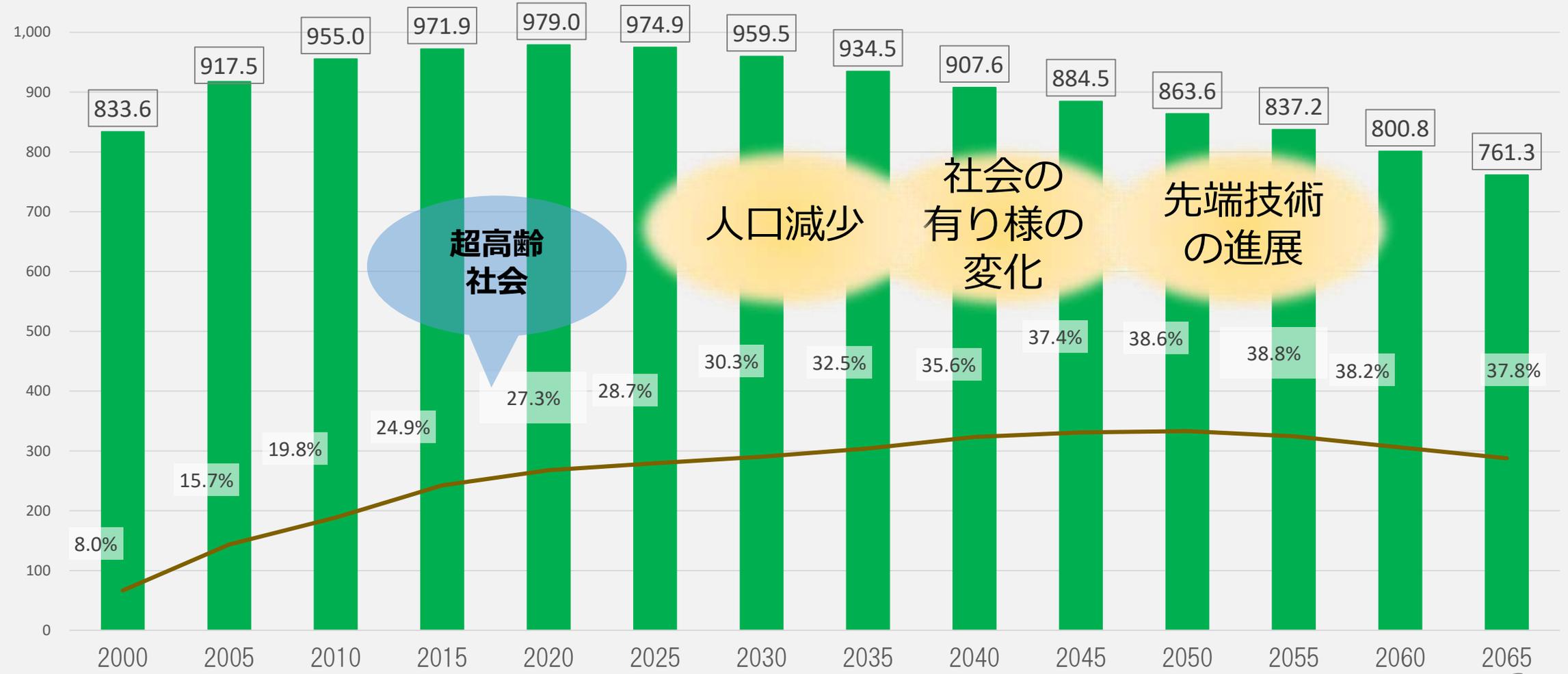
「都市アイデンティティの確立」

- 郷土・千葉市への誇りを醸成し、これからも
「**住み続けたい**」と、市民の皆様に思ってもらおう
 - ▶ 悠久の歴史の上に成り立っている今の千葉市
 - ▶ 千葉市の魅力を発見・再認識
- 「**訪れてみたい**」「**住んでみたい**」と
市外の人に思われるような都市へ

千葉市の今とこれから

■なぜ、都市アイデンティティの確立が必要？

【将来推計人口】



千葉市の今とこれから

本市が活力を維持し、持続的に発展し続けるため

千葉市独自の存在感

市民が愛着と誇りを持ち「住み続けたい」と感じること

市外から「住んでみたい」「訪れてみたい」という魅力を感じてもらうこと

企業からも「選ばれる」都市になることが必要

都市アイデンティティの確立

都市機能の向上に加え、

**本市固有の歴史やルーツに基づく
「都市アイデンティティ」を確立し、
戦略的に展開していく**

本市の都市イメージ

本市の都市イメージ

古いものと新しいもの、都会と田舎、
さまざまな融合が魅力を生む街

海と緑に囲まれながら、
本格的な文化・芸術・スポーツを楽しめる街



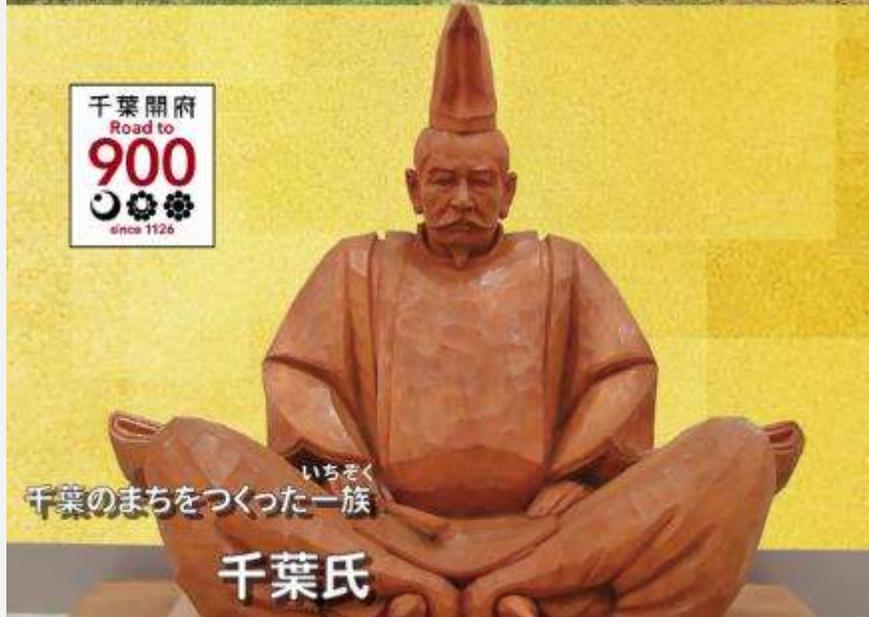
※「H26 都市アイデンティティ確立に向けた基礎調査」より



これらを形成する下地となる本市固有の歴史やルーツに根ざした地域資源として、
固有性・独自性などに着目して**4つの地域資源**を選定

2. 4つの地域資源

4つの地域資源



4つの地域資源 ①加曽利貝塚



加曽利貝塚

- 日本最大級の貝塚
- 貝塚としては初めて国の特別史跡*に指定

*「国が文化財保護法で指定した史跡のうち、学術上の価値が特に高く、
わが国文化の象徴たるもの」
遺跡の**国宝**に相当



加曽利貝塚に見られる価値観

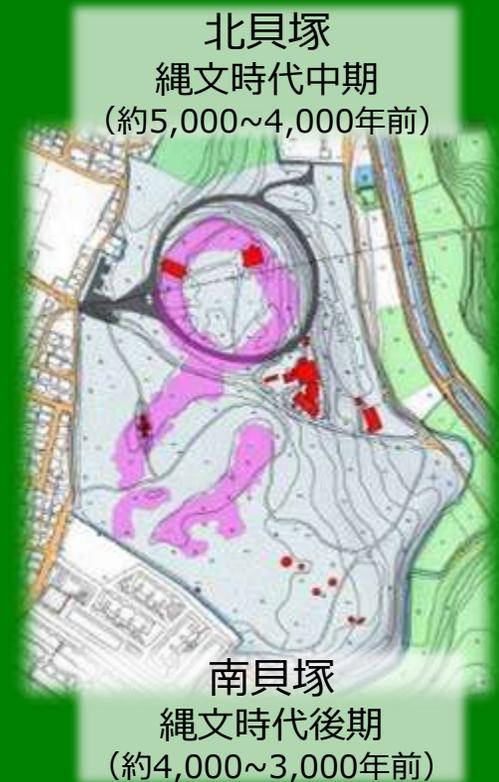
- ・ 全国に約2,400か所ある縄文時代の貝塚のうち、約120か所が千葉市に集中。
- ・ 約2,000年もの間、繰り返しムラが作られ続けた。
- ・ リサイクル、資源の管理、共生

⇒ **豊かで持続可能な社会**

縄文人から伝わるSDGsの精神

- ・ 高度経済成長期、市民の保存運動により開発の危機を免れた

⇒ **文化財保護の在り方に大きな影響**



これまでの取組み

- ・約半世紀ぶりに本格的な発掘調査に着手（2017.9月～）
- ・縄文体験プログラムの提供
- ・**「特別史跡加曽利貝塚新博物館基本計画」**

策定（新博物館の移転整備、貝塚保護など遺構整備、
来訪者の利便性向上）



加曽利貝塚PR大使
かそりーぬ



没入型展示「縄文体験空間」



対話型展示「未来ラウンジ」



探究型展示「加曽利ラボ」

4つの地域資源②オオガハス



オオガハス

- ・ 千葉市検見川で発掘された、**2000年前の古代ハス**の実から、生育・開花に成功



“世界最古の花”

- ・ **国内海外約250か所以上に分根**され、平和や友好の象徴となっている

オオガハスに見られる価値観

- ・ 熱い情熱を持った研究者を市民が受入れ協力することで何千年もの眠りから復活
- ・ 優美な姿が、平和と友好の象徴となり、本市から世界に広がった



▲千葉市制100周年記念漫画より



「花のあふれるまちづくり」
シンボルキャラクター
ちはなちゃん ▶



これまでの取り組み

- 大賀ハスまつり（毎年6月）
- YohaS（夜ハス）（2018年～）
- ガイドやボランティアへの市民参加促進
（ハス守さん養成講座等）



▲大賀ハスまつり

4つの地域資源 ③ 千葉氏



20

◀ 安西順一作「千葉介常胤像」

千葉氏

- ・桓武天皇の血を引く関東の名族。
- ・平安時代後期の1126年に千葉常重(つねしげ)が現在の中央区亥鼻付近に本拠を移す。



“千葉のまちとしての歴史の始まり”

- ・子の千葉常胤(つねたね)は平家に敗れ千葉に逃れてきた
源頼朝の再起を助け
- ・鎌倉を本拠とするように進言するなど、
鎌倉幕府の創設に貢献、一族は列島各地に広がる

➡ 頼朝は常胤を「父と思う」とまで信頼



▲千葉開府900年に向けた
取組みのシンボルロゴ

千葉氏に見られる価値観

- ・ 様々な地域と交流し相互に文化的な影響を及ぼす
⇒現在も、「千葉氏サミット」などで**都市間連携**
- ・ 常胤が**高齢に達してから歴史に登場し、若い世代とともに社会を築く**



▲千葉氏の家紋「月星紋」



▲市章



▲初音ミクコラボ



これまでの取り組み

- 千葉氏関連特別展・企画展の実施（郷土博物館）
- ゆかりの自治体と連携「千葉氏サミット」
- 2022年 **NHK大河ドラマ**と連携したPR
- 親子三代夏祭りにおけるPR
- 千葉氏VRゲーム「月星の記憶」制作
（令和5年度千葉市スマートシティ実証事業）



4つの地域資源④海辺



海辺

- かつて、「富嶽三十六景（葛飾北斎）」にも描かれ、保養地として親しまれる
- 高度成長期に埋め立てで失われた海岸が**日本一の長さを誇る人工海浜**として復活
- 「千葉みなと」は国際拠点港湾として指定される他、“みなとオアシス千葉みなと”としても登録され、様々なイベントを開催



▲富嶽三十六景 登戸浦（葛飾北斎）



いなげの浜

検見川の浜

幕張の浜

千葉市の海辺に見られる価値観

- ・本市において、豊かな暮らしを支え、人々を受入れ、交流させる役割を担ってきた
- ・鉄鋼などの産業誘致や幕張新都心のまちづくり



数々の**挑戦**が、本市だけでなく
わが国の発展にも大きく**影響**

これまでの取り組み

- ・「海辺のグランドデザイン」に基づくまちづくり
- ・海辺を活かしたイベントの開催
- ・稲毛海浜公園リニューアル



▲稲毛海浜公園リニューアル（全体イメージ図）



▲幕張ビーチ花火フェスタ
（第1回市制100周年記念
フォトコンテスト入賞作品@mcp1098）



▲海へ延びるウッドデッキ
（政令指定都市移行・区設置30周年記念
フォトコンテスト入賞作品@oshigeetsuko）

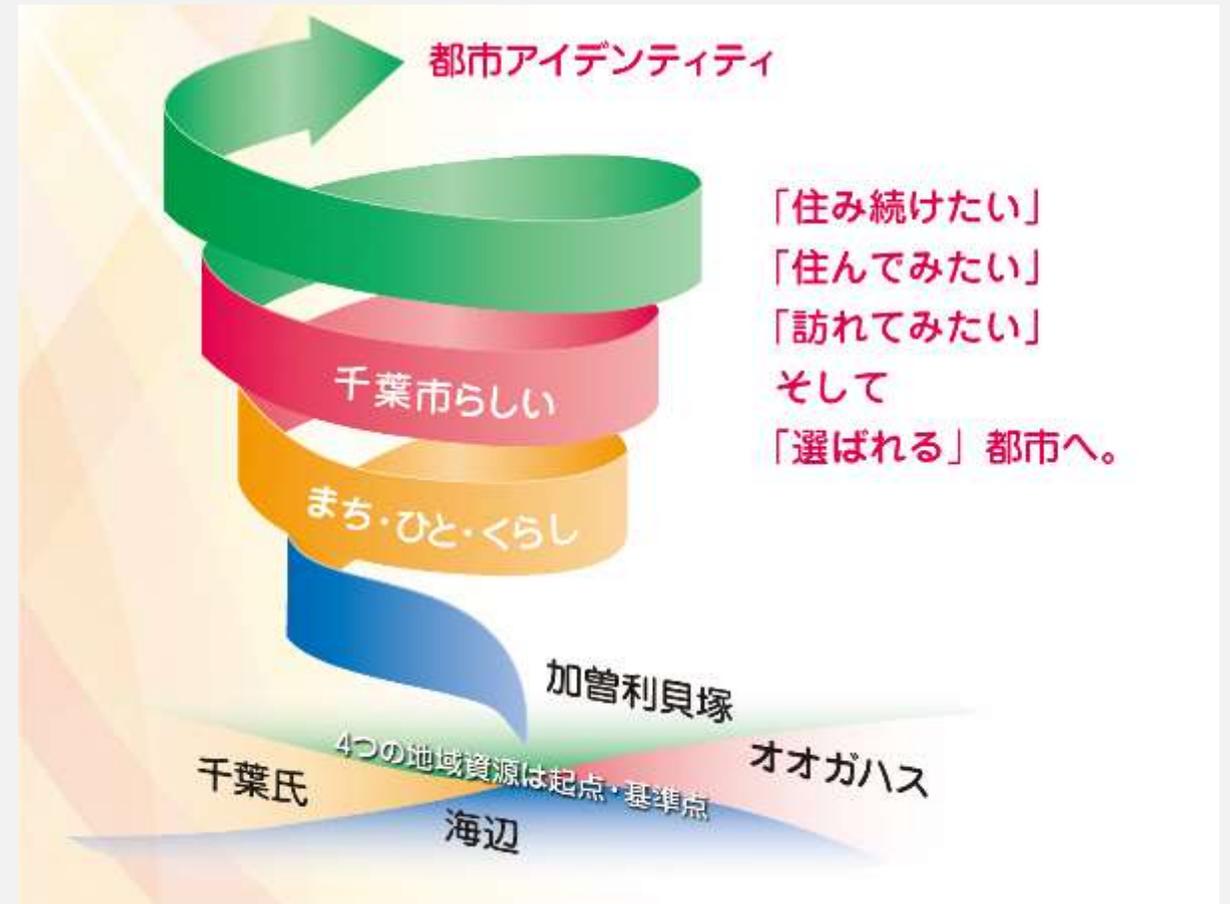
都市アイデンティティの確立

加曽利貝塚

オオガハス

千葉氏

海辺



- ▶本市固有の歴史やルーツに基づく4つの地域資源を起点・基準点として活用しながら、「千葉市らしい」まちづくり・ひとづくり・暮らしづくりを進め、それを積み重ねて「都市アイデンティティ」を確立していくことを目指す。

都市アイデンティティ戦略プラン

2016年 「千葉市都市アイデンティティ戦略プラン」策定
→本市の「都市アイデンティティ」の確立に向けて、
地域資源を活用した取組みを都市政策として
戦略的に進めていくことを目的



2022年 中間見直しの実施 (改定版の策定)

計画期間の前半5年が経過し、成果や明らかになった課題等を踏まえ、千葉開府900年となる2026年に向けて都市アイデンティティ確立のための取組みを効果的に進めるために実施。

2026年 目標年次【千葉開府900年】

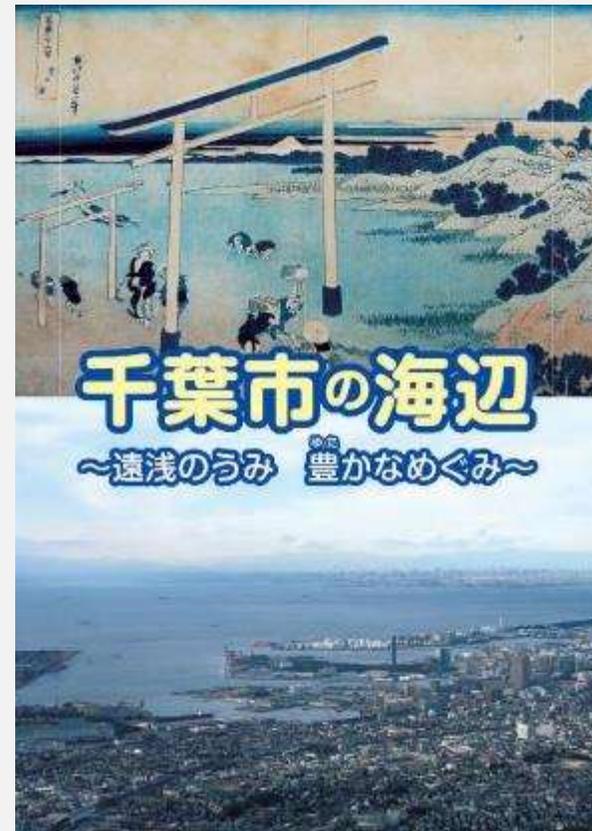


都市アイデンティティの確立に向けて

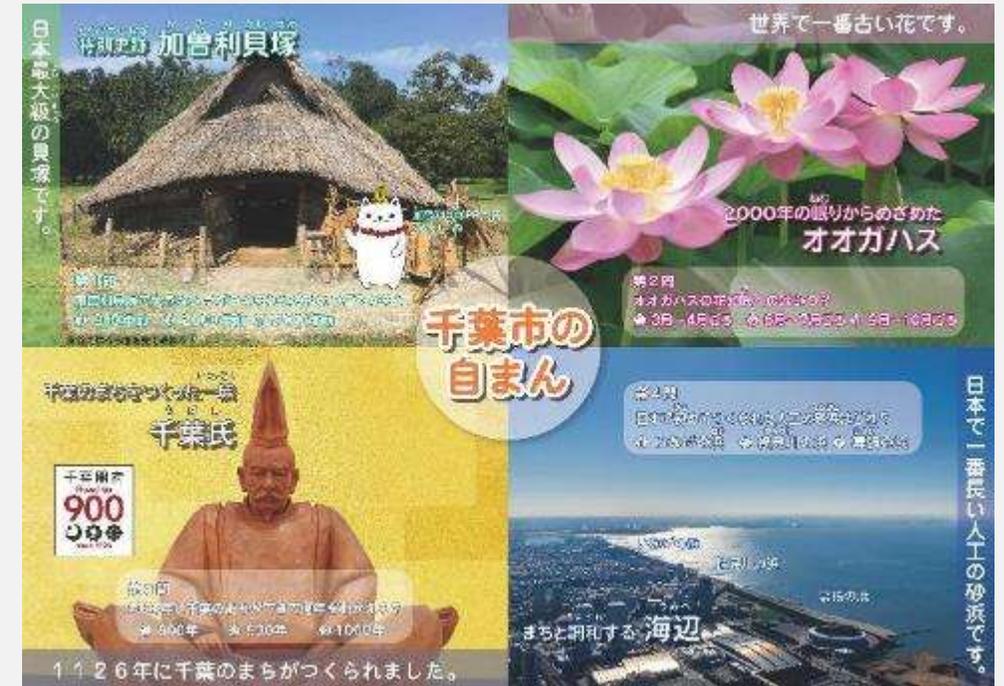
【学校教育での取組み】



▲マンガ「千葉常胤公ものがたり」



▲社会科副読本「千葉市の海辺」



▲下敷き「千葉市の自まん」

都市アイデンティティの確立に向けて

【未就学児向けの取組み】



▲都市アイデンティティ紙芝居「かづきとみーこの4つのたからもの」

都市アイデンティティの確立に向けて

【市内専門学校との取り組み】



▲ 4つの地域資源をイメージしたクッキー
〈ハッピー製菓調理専門学校との連携〉



▲ 都市アイデンティティレシピコンテストの実施
〈千葉調理師専門学校との連携〉

3. その他

千葉開府 900年（2026年）

1126年6月1日 千葉常重（つねしげ）が現在の中央区亥鼻付近に本拠を移す



→千葉市のまちとしての歴史の始まり

2026年6月 千葉開府 900年 を迎えます！

千葉市では、この大きな節目を契機に、市民、団体、企業、大学、行政など多様な主体が、歴史的節目を迎える喜びを分かち合うとともに、千葉一族からの学びを活かしながら記念事業を行い、開府1000年をも見据えつつ、次代を担う若い世代が千葉市に誇りを持ち、より豊かな未来につなげていくことができるよう取り組みを進めていきます。

千葉開府900年（2026年）に向けた取組み



▲第1回 千葉開府900年記念協議会（令和5年11月14日）

千葉開府900年（2026年）に向けた取組み



▲「千葉城月星祭」の開催（令和5年12月2日）▶
〈千葉青年会議所との連携〉



千葉開府900年（2026年）に向けた取組み



▲千葉開府900年に向けたカウントダウンボード



▲千葉開府900年900日前カウントダウンセレモニー
（令和5年12月14日）

千葉開府900年（2026年）に向けた取組み



▲千葉開府900年PR動画

千葉開府900年（2026年）に向けた取組み

千葉開府900年を**VR**で体験せよ！

現代に蘇った千葉一族中興の祖

千葉常胤

千葉の歴史改変をたくらむ

九尾の狐

月星の記憶

千葉900年の歴史と未来を脅かす九尾の狐。
それを阻止せんと現代に蘇る千葉常胤。
千葉の礎を築いた千葉常胤とともに時空を超えた冒険に出発しよう！

2/23(祝・金) 10:00 ~ 17:00 【会場】ちばぎんイノベーションラウンジ

▲千葉氏VRゲーム「月星の記憶」（令和5年度千葉市スマートシティ実証事業）

千葉開府900年（2026年）に向けた取組み



▲千葉氏VRゲーム体験会の様子（@イオンモール幕張新都心）

Walkable TOYOSUNA
幕張豊砂駅
開業1周年まつり
2024年3月16日(土)・17日(日)

3月16日(土)イベント
幕張豊砂駅開業1周年記念パレード
豊砂公園前通

3月17日(日)イベント
とよすなゆうえんち・えぞなかにらぶつえん
とよすなうみかぜ広場周辺

その他・さまざまなイベントが盛りだくさん!

- ◎CASIO 振替店ピアノ POP UP イベント
- ◎幕張豊砂駅開業1周年記念LIVE
- ◎千葉の魅力展覧とたけなご舞楽
- ◎コスプレ大会キックオフ
- ◎新着オープンからさらに盛りだくさん! 抽選会
- ◎KEYO TEANAG+ 発表イベント
- ◎ちばの魅力展覧とちばたけなご

会場マップ

【主催】Walkable TOYOSUNA実行委員会
千葉県・イオンモール、(株)日本鉄道建設企画機構、(株)千葉駅・トヨスナビル・コスモビル・エコービル・アークビル、(株)千葉駅前ビル、(株)日本サッカー協会、日本サッカー協会、千葉県サッカー協会
【協賛】Park Link建設株式会社

Walkable TOYOSUNA実行委員会、(株)Walkableのみなさまからのご協力により開催いたします。また、本イベントの開催に際しては、関係する各機関・団体・個人からのご協力も大変重要となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

ありがとう
ございました。